

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域交流サロン運営事業	コード	02-01-03-10
		担当課・係	市民福祉課福祉係
		担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成16年～	電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	障害者(児)福祉	

事業について	
目的 (何のために)	障害者等が住み慣れた地域で、自立した豊かな生活を送れるよう支援する
対象 (誰・何を対象に)	家庭に引きこもりがちな障害者等とその家族
内容	日生西公民館において交流ルームの開設や日常生活支援・就労支援等各種相談の促進など多機能な各種サービスと情報を利用者に提供する

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
実施回数	73 回	98 回	
延参加人数	333 人	596 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	405	間接補助金等		直接事業費	378	間接補助金等	
	人件費	1,163	委託費負担		人件費	1,395	委託費負担	
	合計	1,568	市債	1,568	合計	1,773	一般財源等	1,773

必要人員	0.13 人	0.15 人	
結果指標	結果指標名	事業実施回数	事業実施回数
	結果指標量	73	98
	単位	回	回
	対前年比	-	134.25%
	活動にかかるコスト	1,568,000 円	1,773,000 円
	単位当たりコスト	21,479 円	18,092 円
結果指標	結果指標名	延参加人数	延参加人数
	結果指標量	333	596
	単位	人	人
	対前年比	-	178.98%
	活動にかかるコスト	1,568,000 円	1,773,000 円
	単位当たりコスト	4,709 円	2,975 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	施設に登録されているすべての障害者が施設を利用する		
成果指標名	事業参加率	式又は説明	延参加人数(596人) / (事業実施回数98回 × 登録人数(12人))
	17年度	18年度	
成果指標量	41.5%	50.7%	
対前年比	-	122.17%	0.00%
到達目標値	60.0%	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市地域交流サロンとまり木運営事業実施要綱
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

妥当性評価 <A~E> A

課題認識

この事業は主に家庭に引きこもりがちな精神障害者の方々の社会参加への一助となっているが、障害者の自立を促すためにも今後ともより多くの市民との交流を考えていきたい

効率性評価 <A~E> A

課題認識

民生委員やボランティアの協力でコスト的には最小限におさえている

有効性評価 <A~E> A

課題認識

新規の参加者も徐々に増えている（民生委員の声掛けやセミナー等を聞いての参加者もある）

平成19年度状況		説明		
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
目標値	結果指標量	98	結果指標量	706人
	成果指標量	60.0%		

総合評価	評価区分 <A~E> A
家庭に引きこもりがちな障害者の方々を行政を中心とした地域全体で支え、自立を促す事業であり、今後とも維持発展をさせていくべきと考える	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	参加率の向上	平成19年度	精神障害者等の社会参加向上（引きこもり予防）